

ベルハンマーよくある質問集 オートバイ・自転車編

ベルハンマーをバイクに使用しているお客様からよく頂くご質問を問答形式でまとめてみました。
下記 ご注意（免責）をご確認のうえ参考にして下さい。

ご注意（免責）

ブレーキ・クラッチ・特にバイクのエンジンオイル（湿式クラッチ）等、摩擦で動作を制御する箇所には絶対に使用しないでください。

本商品は自己責任にて使用をお願いします。

本製品を使用した塗布対象物の物性変化それに伴う動作等の影響に関しては 一切保障いたしません。



Q ゴム(メカニカルシール・オイルシール)・シールチェーンに対する影響はありますか？

A LS ベルハンマーは第4石油類の油ですので、一般油脂で最も樹脂・ゴム・シール類に対して影響は小さいです。

ただし、工業製品に使われるゴム・樹脂・プラスチックは無数の種類があります。

参考資料として対油表を準備しておりますので、ご確認頂きまして自己責任にてご使用下さい。



← シールチェーン説明動画はこちら

Q バイクの2ストオイルに添加出来ますか？

A 添加しないでください

理由は町中のバイクの多くが分離給油の為、2ストオイルと組成的に分離してしまいますと2ストオイルが内燃に入らず焼き付き等のトラブルが出てしまう恐れがございます。

また、混合給油方式でも燃焼室にて燃える際カーボンが付着してしまいます。

レース等でヘッドを頻繁にあけてメンテナンスされる場合は問題ございませんが

町中使用ではそちらが問題となる可能性が多分がございますので

ご利用はお控えください。

Q バイクのエンジンオイル(ミッションオイル)に添加は可能でしょうか？

A 添加しないでください

通常のギア付きバイクのエンジンオイル(ミッションオイル)への添加は

湿式クラッチ方式が多い為 LS ベルハンマーの金属改質による猛烈な潤滑性により

クラッチを滑らしトラブルの元になります。

バイク（湿式クラッチ）のエンジンオイルには絶対に使用しないで下さい。



← バイクのエンジンオイル説明動画はこちら



乾式クラッチ及びスクーターのエンジンオイルとギアオイルへの添加は出来ますか？



2スト・4スト問わず乾式クラッチ及びスクーターのエンジンオイルとギアオイルへの添加は可能です。ボックス内で攪拌されますと、フリクションロスが低減してレスポンスがアップいたします。また、その他、摺動箇所アクセルや駆動系、その他ホイールベアリング等回転、摺動系にご使用頂くとフリクションロスは低減致します。添加量としてはオイル総量の5~10%添加を推奨します。



エンジンの組み込みオイルとして使用できますか？



使用可能です。
クランクやピストンの組み込みオイルとして使用してエンジン始動前になるべく多めにクランキングすることによりエンジンの焼き付き防止やクランクやシリンダーの延命や出力UPに繋がります。



フロントフォークオイルへの添加について



フォークオイルへの添加に関しましては、動粘度に影響を与えない範囲であればフォークオイルのLSベルハンマー原液を添加しての使用は可能です。使用している方の多くは、5%~10%の添加をしております。
(ただし、オイル番手を調節して、5%~10%の添加をしても動粘度に影響を与えないように調整)使用することで、摩擦抵抗が抑えられることにより、インナーチューブの摺動、路面の走破性が良くなり、部品の消耗も抑えられます。



自転車・バイクのチェーン等で使用するとチェーンはよごれますか？



通常の市販潤滑剤を使用していた時、気にならなかったチェーンオイルの塗布箇所がLSベルハンマーに切り替えしばらく運転を行い塗布箇所を確認すると黒色の細かい粒子のような感じで汚れてみえます。このような状態をコンタミネーションといいLSベルハンマーが金属を改質した時に発生する(改質金属粉作製中の工程の一部)でありチェーンやスプロケ(平板)のフリクション(抵抗)が減る為に必要なプロセスです。気になる方はウエス等で拭き取ってください。




今まで使用していたオイルの上から使用しても大丈夫？





問題ございません。そのまま他の油脂がついている上からでも使用できます。ベルハンマーは添加剤としても使用できる設定のため、効果は出ます。




脱脂の有無についての説明動画はこちら

 使用した際、飛び散りますか？

 高速回転では間違いなく飛び散りますが、浸透性を高めておりますので浸透して潤滑致します。
多く塗布しすぎた場合は、ウエス等で軽くふき取ってください。


 バイクのホイールベアリングに使用できますか？

 ベアリングなどの摺動部には絶大な効果を発揮します。

スプレー、グリスともに使用できます。

ダストシールのついているベアリングにはダストシールを外して潤滑する方法でもいいですが
シールの上から塗布するだけでも浸透して潤滑されます。



 [バイクのホイールベアリングについての説明動画はこちら](#)

LS・H1 ベルハンマー 耐油表

(注) 下記データは室温によるデータです。

高温等で使用する場合は、試験片による実用試験にて確認して下さい。

下記 ご注意（免責）をご確認のうえ参考にして下さい。

ご注意（免責）

工業製品に使われているゴム・樹脂・プラスチックは無数の種類・物性・特性があります。

あくまで参考資料として耐油表をお使い下さい。

本製品を使用した塗布対象物の物性変化それに伴う動作等の影響に関しては一切保障いたしません。

① ゴムに対する影響

ゴムの種類（略号）		ゴムの種類（略号）	
天然ゴム (NR)	×	ニトリルゴム (NBR)	◎
ブタジエンゴム (BR)	×	アクリルゴム (ACM)	◎
スチレンゴム (SBR)	×	ウレタンゴム (U)	◎
ブチルゴム (IIR)	×	シリコーンゴム (Si)	○△
エチレン・プロピレンゴム (EPM)	×	フッ素ゴム (FPM)	◎

② プラスチック・樹脂に対する影響

プラスチック・樹脂の種類（略号）		プラスチック・樹脂の種類（略号）	
塩化ビニル樹脂/軟質 (PVC)	△	フッ素樹脂 (PTFE)	◎
塩化ビニル樹脂/硬質 (PVC)	○	ポリカーボネイト (PC)	◎
ポリスチレン (PE)	—	メチルペンテン樹脂 (TPX)	◎
ABS (ABS)	◎	ポリウレタン (PU)	—
ポリエチレン (PE)	△	フェノール樹脂 (PF)	◎
ポリプロピレン (PP)	○	メラミン樹脂 (MF)	◎
ナイロン (PA)	◎	エポキシ樹脂 (EP)	○
アクリル樹脂 (PMMA)	○		

◎：全くあるいはほとんど影響がない ○：若干の影響はあるが条件により十分使用に耐える

△：なるべく使用しないほうがいい ×：大きく影響があるため、使用に適さない

—：データ無し